

次期環境基本計画における環境指標（案）の設定概要一覧

資料 3

No.	環境指標 〔担当課〕	基本目標	指標の定義等	次期計画の目標		実績		変更理由・算定方法等	
		基本施策							
1	太陽光発電導入量 (設備容量の合計) (累計値) 〔環境企画課〕	気候変動を抑え、備える まち【低炭素】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の住宅及び市有施設における太陽光発電システムの導入量の累計値</li> <li>●住宅への導入状況は、「いわき市環境負荷軽減型住宅整備費補助事業」による導入実績のもののみを算入</li> <li>※実績値の中には、H24～H27年度に補助した事業・店舗向けの補助を含む。</li> </ul>	(単位)	kW	H26	15,221	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市補助制度：年間1,160kW（約290件補助）</li> <li>●市有施設への設置：屋根等貸し事業などにより年間20kW導入するものとする（具体の事業は未定）</li> <li>●以上より、R1現状実績24,035kW + ①1,160kW×11か年 + ②20kW×11か年≒37,000kW</li> </ul>
		次世代エネルギー社会の構築		R1現状値 (基準値)	24,035	H27	17,523		
				R12目標値	37,000	H28	19,468		
					H29	20,918			
H30	22,385								
2	化石エネルギー消費削減量 (原油換算時) (累計値) 〔環境企画課〕	気候変動を抑え、備える まち【低炭素】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市公共施設や、補助事業により民間へ導入された太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、木質ペレット等による再生可能エネルギー導入量に原油換算係数を乗じて算定</li> </ul>	(単位)	kl	H26	16,453	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●太陽光発電…R1年度:6625.8kl⇒R12年度:10,065.5kl</li> <li>●太陽熱利用…R1年度:38.6kl⇒R12年度:38.6kl</li> <li>●風力発電…R1年度:11527.7kl⇒R12年度:11527.7kl</li> <li>●木質バイオマス…R1年度:288kl⇒R12年度:336.3kl</li> <li>●地中熱…R1年度7.3kl⇒R12年度:7.3kl</li> <li>●下水汚泥バイオマス…R1年度:314.6kl⇒R12年度:314.6kl</li> </ul>
		次世代エネルギー社会の構築		R1現状値 (基準値)	18,801	H27	17,068		
				R12目標値	22,290	H28	17,585		
					H29	17,971			
H30	18,364								
3	家庭から排出される市民一人 あたりの温室効果ガス排出量 〔環境企画課〕	気候変動を抑え、備える まち【低炭素】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の家庭から排出される市民一人当たりの温室効果ガス排出量（運輸部門を除く）</li> <li>●都道府県別エネルギー消費統計（福島県）のデータを世帯数で按分し、人口で除して、二酸化炭素排出量に換算して推計する。</li> <li>●基準値はH29</li> <li>●統計資料を使用するため、実績値は3年遅れる。</li> </ul>	(単位)	t-CO2/年	H24	2.02	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参考指標1の民生家庭部門排出量を使用</li> <li>●国の目標（「地球温暖化対策計画」の各部門の排出量目安）における、CO2家庭部門の2030年における排出量の目安から、H29年比マイナス33%として設定</li> </ul>
		徹底した省エネルギーの推進		H29現状値 (基準値)	算定中	H25	2.01		
				R12目標値	算定中	H26	1.99		
					H27	1.80			
H28	1.71								
4	自家用車利用に伴う温室効果 ガス排出量 〔環境企画課〕	気候変動を抑え、備える まち【低炭素】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国の総合エネルギー統計のデータを活用し、各種自動車保有台数で按分し、二酸化炭素排出量に換算して推計する。</li> <li>●基準値はH29</li> <li>●統計資料を使用するため、実績値は3年遅れる。</li> </ul>	(単位)	千t-CO2/年	H24	371.8	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参考指標1の運輸部門のうち乗用車の排出量を使用</li> <li>●国の目標（「地球温暖化対策計画」の各部門排出量の目安）において乗用車の排出量の目安がないことと、市内の自家用車保有台数が増加していることから、H29年の数値を現状維持することを目標とする。</li> </ul>
		徹底した省エネルギーの推進		H29現状値 (基準値)	算定中	H25	389.4		
				R12目標値	算定中	H26	396.7		
					H27	354.2			
H28	356.5								
5	熱中症搬送患者者数 〔環境企画課〕	気候変動を抑え、備える まち【低炭素】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●直近5か年における、市内の年平均熱中症救急搬送者数</li> </ul>	(単位)	人	H27	195	新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>●熱中症に関する注意喚起等により、熱中症救急搬送者数の減少を目指す。</li> </ul>
		気候変動への対応		R1現状値 (基準値)	207 (直近5か年平均)	H28	140		
				R12目標	減少を目指す	H29	156		
					H30	296			
R1	247								

次期環境基本計画における環境指標（案）の設定概要一覧

資料 3

No.	環境指標 〔担当課〕	基本目標	指標の定義等	次期計画の目標		実績		変更理由・算定方法等	
		基本施策							
6	多面的支払交付金対象面積 〔農業振興課〕	気候変動を抑え、備える まち【低炭素】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農村地域の有する多面的機能の維持・発揮を図るために地域の共同活動や地域資源の適切な保全管理を推進する活動を支援する多面的機能支払交付金の対象農用地の合計</li> <li>●「いわき市農業・農村振興基本計画」の成果指標</li> </ul>	(単位)	ha	H26	1,509	新規	●算定中
		気候変動への対応		R1現状値 (基準値)	2,542	H27	2,455		
				R12目標		H28	2,455		
						H29	2,587		
H30	2,625								
7	防災訓練参加者数 〔危機管理課〕	気候変動を抑え、備える まち【低炭素】	●市が主催する「いわき市総合防災訓練」の参加者数	(単位)	人/年	H26	18,079	新規	●算定中
		気候変動への対応		R1現状値 (基準値)	5,599	H27	16,132		
				R12目標値		H28	12,545		
						H29	33,473		
H30	34,374								
8	一人一日当たりのごみ排出量 〔ごみ減量推進課〕	地域内で有効に資源が 循環するまち【循環】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年間のごみ排出量（燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみ及び古紙類）を現住人口で除したものを年間日数で除して推計する。</li> <li>●「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」における計画目標値</li> </ul>	(単位)	g/人・日	H26	1,067	継続	●算定中
		ごみ減量のさらなる推進と 循環型社会の確立		R1現状値 (基準値)	1,016	H27	1,046		
				R12目標値		H28	1,025		
						H29	1,020		
H30	1,002								
9	リサイクル率 〔ごみ減量推進課〕	地域内で有効に資源が 循環するまち【循環】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみ排出量に対する再資源化量の割合</li> <li>●再資源化量（直接及び中間処理資源化量と古紙類の合計）を、ごみ排出量（燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみ及び古紙類）で除したもの</li> <li>●「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」における計画目標値</li> </ul>	(単位)	%	H26	19	継続	●算定中
		ごみ減量のさらなる推進と 循環型社会の確立		R1現状値 (基準値)	22.3	H27	22		
				R12目標値		H28	22		
						H29	22		
H30	22								
10	食品ロス発生量 〔ごみ減量推進課〕	地域内で有効に資源が 循環するまち【循環】	●家庭から排出される食品ロス（直接廃棄、過剰切除及び食べ残し）の年間発生量	(単位)	t/年	H26	-	新規	●目標値は、国資料に基づく発生量から算出したもの
		ごみ減量のさらなる推進と 循環型社会の確立		R1現状値 (基準値)	6,320 (平成29年度)	H27	-		
				R12目標値		H28	-		
						H29	-		
H30	-								

次期環境基本計画における環境指標（案）の設定概要一覧

資料 3

No.	環境指標 〔担当課〕	基本目標	指標の定義等	次期計画の目標		実績		変更理由・算定方法等	
		基本施策							
11	産業廃棄物排出量 〔廃棄物対策課〕	地域内で有効に資源が循環するまち【循環】	●福島県産業廃棄物排出処理状況確認調査の結果から把握する、市内の産業廃棄物排出量 ●各年度の事業者等個別データは次年度の6月から8月にかけて収集し、次々年度までに集計される。よって、最新の結果は前々年度のもの（令和2年度であれば、平成30年度実績値）となる。	(単位)	千t/年	H25	3,371	継続	●目標値は、県資料に基づく排出量から算出したもの
				H30現状値 (基準値)	3,310 (平成30年度)	H26	3,548		
		R12目標値		算定中	H27	3,515			
					H28	3,207			
廃棄物の適正処理	H29	3,326							
12	産業廃棄物減量化・再生利用率 〔廃棄物対策課〕	地域内で有効に資源が循環するまち【循環】	●福島県産業廃棄物排出処理状況確認調査の結果から把握する産業廃棄物排出量のうち、焼却や脱水による減量化量及び再生利用量の重量割合	(単位)	%	H25	95	継続	●目標値は、県資料に基づく排出量から算出したもの
				H30現状値 (基準値)	96 (平成30年度)	H26	94		
		R12目標値		算定中	H27	95			
					H28	95			
廃棄物の適正処理	H29	95							
13	クリーンピー応援隊参加者数 〔ごみ減量推進課〕	地域内で有効に資源が循環するまち【循環】	●クリーンピー応援隊（自主的な美化活動支援制度）に登録した参加人数の合計	(単位)	人/年	H26	5,440	継続	●目標値は、R1年実績値から1割向上とする。
				R1現状値 (基準値)	5,689	H27	5,594		
		R12目標値		6,200	H28	5,640			
					H29	5,657			
まちの美化と不法投棄の防止	H30	5,670							
14	不法投棄監視サポーター登録者数 〔廃棄物対策課〕	地域内で有効に資源が循環するまち【循環】	●不法投棄の早期発見と未然防止を図るため、不法投棄に対する市民ボランティアによる監視活動等を行う『不法投棄監視サポーター制度』への登録者数	(単位)	人/年	H26	246	変更	●不法投棄通報件数の指標から変更、不法投棄通報件数の多少は、指標単体で良し悪しの判断が困難なため ●目標値は、毎年70名の純増とする。
				R1現状値 (基準値)	1,156	H27	466		
		R12目標値		1,900	H28	725			
					H29	1,046			
まちの美化と不法投棄の防止	H30	1,311							
15	野生動植物等調査参加者数 (累計値) 〔環境企画課〕	いきものの多様性をまもり、自然の恵みを享受できるまち【共生】	●野生生物生息生育状況調査の年間参加者数の累計値	(単位)	人	H26	-	変更	●生物多様性の保全・普及啓発を評価するには、「調査種類数」より「調査参加者数」の方が適しているため ●目標値は、算定中
				R1現状値 (基準値)	2,549	H27	-		
		R12目標値		算定中	H28	69			
					H29	1,005			
生物多様性への理解の促進	H30	1,774							

次期環境基本計画における環境指標（案）の設定概要一覧

資料 3

No.	環境指標 〔担当課〕	基本目標	指標の定義等	次期計画の目標		実績		変更理由・算定方法等	
		基本施策							
16	自然体験型イベントの 開催数 〔環境企画課〕	いきものの多様性をまもり、自然の恵みを享受できるまち【共生】	●市内における自然体験型イベントの年間開催数を指標として設定	(単位)	回/年	H26	22	継続	●目標値は、市内において開催される自然体験型イベントが週1回のペースとなるようにし、50回/年とする。
		生物多様性への理解の促進		R1現状値 (基準値)	31	H27	24		
				R12目標値	50	H28	25		
					H29	27			
H30	29								
17	中山間地域等直接支払 交付対象面積 〔農業振興課〕	いきものの多様性をまもり、自然の恵みを享受できるまち【共生】	●耕作放棄が起こりやすい中山間区域などの耕作放棄地の発生を防止するため「中山間地域等直接支払集落協定」を締結した集落の協定農用地面積	(単位)	ha/年	H26	1,188	継続	●算定中
		生物多様性の確保		R1現状値 (基準値)	算定中	H27	1,158		
				R12目標値	算定中	H28	1,160		
					H29	1,193			
H30	1,202								
18	緑地協定面積 〔公園緑地課〕	いきものの多様性をまもり、自然の恵みを享受できるまち【共生】	●緑地協定は、都市区域または準都市区域内における相当程度の土地において、良好な環境を確保するため、土地所有者の合意に基づき、現在ある緑地の保全や新たな緑化推進を図るもの。緑地協定面積は、締結された緑地協定の面積を集計したもの	(単位)	ha	H26	197.28	継続	●算定中
		生物多様性の確保		R1現状値 (基準値)	197.28	H27	197.28		
				R12目標値	算定中	H28	197.28		
					H29	197.28			
H30	197.28								
19	保存樹林面積 〔公園緑地課〕	いきものの多様性をまもり、自然の恵みを享受できるまち【共生】	●「いわき市緑の保護及び緑の育成に関する条例」に基づき、良好な自然環境の確保又は美観風致を維持するために、必要がある樹林に対し、その所有者の同意を得て、いわき市環境緑化審議会の意見を聞いて指定する保存樹林の面積	(単位)	ha	H26	6.04	継続	●算定中
		生物多様性の確保		R1現状値 (基準値)	6.02	H27	6.04		
				R12目標値	算定中	H28	6.04		
					H29	6.04			
H30	6.04								
20	イノシシの推定生息数 〔環境企画課〕	いきものの多様性をまもり、自然の恵みを享受できるまち【共生】	●市内推定生息数を減少させることを目標に、推定される生息数からイノシシの捕獲（有害駆除、狩猟）頭数を除いた値	(単位)	頭	H26	10,290	継続	●平成31年3月に策定された「福島県イノシシ管理計画（第3期）」を基に、平成30年度当初における市内生息数を約13,000頭と推定した。 ●市内推定生息数を減少させるため、令和元年度から年間捕獲目標頭数を県事業捕獲分と市事業捕獲分併せて年間5,300頭（うち市は3,700頭）と設定する。（各年度の推定生息数＝前年度推定生息数×1.3925－前年度捕獲頭数）
		生物多様性の確保		R1現状値 (基準値)	13,351	H27	10,187		
				R12目標値	7,500	H28	9,542		
					H29	13,020			
H30	13,394								

次期環境基本計画における環境指標（案）の設定概要一覧

資料 3

No.	環境指標 〔担当課〕	基本目標	指標の定義等	次期計画の目標		実績		変更理由・算定方法等	
		基本施策							
21	森林ボランティア活動等 参加者数 〔林務課〕	いきものの多様性をまもり、自然の恵みを楽しむことができるまち【共生】	●「いわき市森林ボランティア活動支援事業補助金」受給団体への参加者数、及び「いわき市植樹祭」への参加者数の合計	(単位)	人/年	H26	626	継続	●令和12年度の目標値は、次期プランが策定されるまでの期間は、現行計画に基づくこととしている。(次年度策定予定) (令和12年度目標：ボランティア700人+植樹祭300人=1,000人)
		自然とのふれあいの機会の創出		R1現状値 (基準値)	767	H27	639		
				R12目標値	1,000	H28	945		
					H30	764			
22	造林事業実施面積 (累計値) 〔林務課〕	いきものの多様性をまもり、自然の恵みを楽しむことができるまち【共生】	●本市が単独補助を実施しているいわき市森林整備（造林事業）補助金に係る間伐等の森林整備面積（累計値）	(単位)	ha	H26	15,008	継続	●令和12年度の目標値は、次期プランが策定されるまでの期間は、現行計画に基づくこととしている。(次年度策定予定) (令和12年度目標 16,909.45+(380.35*11)=21,093.30ha)
		自然とのふれあいの機会の創出		R1現状値 (基準値)	16,388.94	H27	15,322		
				R12目標値	21,093.30	H28	15,639		
					H30	15,869			
23	大気環境基準達成率 〔環境監視センター〕	生活環境が保全され、快適に暮らせるまち【安全・快適】	●大気環境の常時監視を実施している12測定局における二酸化硫黄等の6物質及びベンゼン等の有害大気汚染物質4物質の環境基準達成数の割合	(単位)	%	H26	88.2	継続	●望ましい状況を目標準とする。
		大気・水等の保全		R1現状値 (基準値)	算定中	H27	89.7		
				R12目標値	100.0	H28	89.1		
					H30	87.3			
24	水質（河川）環境基準 達成率 〔環境監視センター〕	生活環境が保全され、快適に暮らせるまち【安全・快適】	●河川における主要な汚濁指標である生活環境項目のBOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成割合	(単位)	%	H26	100.0	継続	●望ましい状況を目標準とする。
		大気・水等の保全		R1現状値 (基準値)	算定中	H27	100.0		
				R12目標値	100.0	H28	100.0		
					H30	100.0			
25	汚水処理人口普及率 〔経営企画課〕	生活環境が保全され、快適に暮らせるまち【安全・快適】	●住民基本台帳人口に対し、公共下水道・地域污水处理施設及び農業集落排水処理施設が供用されている区域内人口と合併処理浄化槽を利用している人口が占める割合	(単位)	%	H26	83.0	継続	●算定中
		大気・水等の保全		R1現状値 (基準値)	86.4	H27	85.3		
				R12目標値	算定中	H28	86.8		
					H30	85.3			

次期環境基本計画における環境指標（案）の設定概要一覧

資料 3

No.	環境指標 〔担当課〕	基本目標	指標の定義等	次期計画の目標		実績		変更理由・算定方法等	
		基本施策							
26	ISO14001・ エコアクション21 認証取得事業所数 〔環境企画課〕	みんなで環境をまもり、創造するまち【支える仕組み】	●環境に配慮した事業活動への取り組みとして、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001、または環境省のガイドラインに基づいた簡易な環境マネジメントシステムであるエコアクション21の認証を取得している市内の事業所数	(単位)	件	H26	75	継続	●直近5年間の増加件数（12件）踏まえ、R12までに、24件増加を目標とする。
		環境保全活動の促進		R1現状値 (基準値)	86	H27	75		
				R12目標値	H28	83			
					H29	83			
H30	87								
27	出前講座受講者数 (累計値) 〔環境企画課〕	みんなで環境をまもり、創造するまち【支える仕組み】	●環境問題に関連する出前講座（※）受講者数 ※：①「再生可能エネルギーって何？」②「地球温暖化について考えよう」③「省エネで快適エコライフ」④「『環境基本計画』を学ぶ」	(単位)	人	H26	444	新規	●目標値は、直近5年間の年間平均受講者数(228名)を約50%増することとし、R12年度:5,000人とする。
		環境保全活動の促進		R1現状値 (基準値)	1,587	H27	488		
				R12目標値	H28	928			
					H29	1,136			
H30	1,346								
28	環境アドバイザー派遣事業の 受講者数（累計値） 〔環境企画課〕	みんなで環境をまもり、創造するまち【支える仕組み】	●市の環境アドバイザー派遣事業による受講者（累計値） ●受講者数は、各派遣実施後に主催者から提出される実績報告の集計による。	(単位)	人	H26	8,687	継続	●算定中
		環境保全活動の促進		R1現状値 (基準値)	14,808	H27	9,556		
				R12目標値	H28	10,501			
					H29	11,325			
H30	13,108								
29	市本庁舎等におけるエネルギー 使用量の原単位 〔環境企画課〕	みんなで環境をまもり、創造するまち【支える仕組み】	●市本庁舎等が行う事務事業で使用されるエネルギーの量を、市役所等の延べ床面積で除したものを、 ●国が示す算定方式に準じて推計	(単位)	kl/m <sup>2</sup>	H26	31.87	変更	●電力使用量、紙及びごみは、災害・選挙・国勢調査などの業務量の増減により大きく変わることから、個別に指標化するのではなく、省エネ法による報告内容である電力や燃料等のエネルギー使用量の原単位を指標とする。 ●省エネ法における削減目標にあわせ、削減目標は年1%以上削減とし、2030年（令和12年）目標値は、2020年（令和2年）実績値を約10%削減（対前年度比1%削減）とする。
		市の率先的な活動の実施		R1現状値 (基準値)	24.13	H27	30.63		
				R12目標値	H28	26.21			
					H29	25.73			
H30	26.21								
30	再生可能エネルギー優先 導入件数 〔環境企画課〕	みんなで環境をまもり、創造するまち【支える仕組み】	●地球温暖化防止や石油代替エネルギーとして活用される新エネルギー（太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、バイオマス熱利用など）の市有施設への導入件数	(単位)	件	H26	73	継続	●設備を整備可能な施設には導入を検討するなどして、引き続き、増加を目指す。
		市の率先的な活動の実施		R1現状値 (基準値)	121	H27	110		
				R12目標	H28	119			
					増加を目指す	H29	118		
H30	120								

次期環境基本計画における環境指標（案）の設定概要一覧

資料 3

No.	環境指標 〔担当課〕	基本目標	指標の定義等	次期計画の目標		実績		変更理由・算定方法等	
		基本施策							
参考指標1	市内全体からの温室効果ガス 排出量 〔環境企画課〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内で排出される温室効果ガス排出量（火力発電の発電燃料分など、エネルギー転換部門は自家消費分を除き、含まない）</li> <li>●国が示す算定方式に準じて推計</li> </ul>	(単位)	千t-CO2/年	H24	4,667	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目標値は、国の削減目標にあわせ2030年（令和12年）までに2013年（平成25年）比26%削減とする。※ただし、市では森林吸収源を排出量算定に含めていない。また、排出量取引についても、R2現在、市で行っていないことから排出量算定に含めていない。</li> </ul>
				R1現状値 (基準値)	4,900 (平成25年度)	H25	4,900		
						H26	4,873		
				R12目標値	3,820	H27	4,808		
						H28	4,648		
参考指標2	市役所等からの温室効果ガス 排出量 〔環境企画課〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>●市役所等の事務事業による、温室効果ガスの排出量</li> <li>●国が示す算定方式に準じて推計</li> </ul>	(単位)	千t-CO2/年	H26	121.8	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●温室効果ガスの排出の大部分を占めるエネルギー使用量の削減の考え方をういて、削減目標は年1%以上の削減とし、2030年（令和12年）目標値は、2020年（令和2年）実績値を約10%削減（対前年度比1%削減）する。</li> </ul>
				R1現状値 (基準値)	算定中	H27	112.8		
						H28	113.5		
				R12目標値	算定中	H29	108.0		
						H30	107.9		